

すくすく 議会だより

No.91

2014. 11

編集／議会広報編集特別委員会

●今号の主な内容

新議長就任あいさつ／

特集 町民と議会との懇談会…2～3

9月定例会のあらまし／決算特別委員会…4～7

町当局への意見提言／監査意見…8

本会議…9～10

9月定例会採決結果一覧…11

町の考えをただす

一般質問 7議員が登壇…12～19

行政視察レポート…20

常任委員会活動報告…21

皆さんからのご意見／ふるさとへの便り(57) …22～23

●今号の表紙／まちの笑顔シリーズ
「栗石町ミニバスケットボール
スポーツ少年団」



新議長就任のあいさつ

雫石町議会議長 石亀 貢

平成 26 年第 6 回雫石町議会定例会(9 月定例会)を終えて所感を述べさせていただきます。

今定例会は決算議会でもあり会期が 9 月 5 日から 24 日までの 20 日間となりました。

8 月下旬に「町民と議会との懇談会」を町内 6 会場で開催させていただきました。延べ 52 名の町民の皆さんにご出席いただき、地域の課題や議会に対するご意見、ご要望をお聴きすることができました。参加者から出されたご質問やご意見、提言については、後日整理して公開することといたしております。

平成 25 年度決算の審査は、議長を除く 18 名の議員が決算特別委員会を設置し審査しました。4 日間の集中審査では、適切なお金の使われ方であったか否か、事業効果があったか否かなどについて町当局に対して委員（議員）が質問し、町長

や担当課長等の答弁をいただいたものです。およそ 300 項目にも及ぶ詳細な質疑は、今期予算の執行や次期予算をより内容のよいものにするための議論であったと思います。

今定例会の初日に猿子恵久前議長の議員辞職に伴い、議長選挙を行った結果、私が議長、副議長に村田厚生氏が就任することとなりました。正副議長選挙に当たって所信表明演説を行い、議会運営に係る所信及び抱負を述べさせていただきましたものです。所信表明を行うという法令の規定は特にありませんが本町議会が定めた議会基本条例に基づき行ったものです。今後とも当議会が目指す公正、透明、そして町民に分かりやすく、関心の持たれる議会を議員全員で取り組んでいこうと考えております。本町議会に対する一層のご理解、ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

町民と議会との懇談会を開催 ～延べ54件の意見や要望等いただきました～

雫石町議会では、町政に関する情報提供と、皆様のご意見やご要望を広くお聴きするため、「町民と議会との懇談会」を 8 月 18 日、19 日、22 日の 3 日間 6 会場で開催しました。

延べ 52 人の方々に参加していただき、議会に対する質問や要望が数多く出されました。その主なものをお知らせします。

開催日	開催場所	参加者数
平成 26 年 8 月 18 日(月)	(1) 長根公民館	15 名
	(2) 駒木野公民館	11 名
平成 26 年 8 月 19 日(火)	(3) 御明神公民館	7 名
	(4) 上町一・二公民館	3 名
平成 26 年 8 月 22 日(金)	(5) 中沼公民館	10 名
	(6) 大村伝承館	6 名
	合 計	52 名



中沼公民館の様子

(1) 長根公民館

- ・農業生産人口が年々減少している。議会では本町農業の課題や振興策に対しどのような議論をしているか。
- ・小学校適正配置検討委員として教育委員会に提言書を提出したが、統合期限を決めなければ先延ばしになるのではないのか。
- ・以前、地区内の赤線道路について町道認定の要望をしたが、幅員等の関係で認定は難しいと言われた。生活道路として活用しており除雪だけでも依頼できないか。
- ・少子高齢化や農業の先行き不安など、町の将来に不安をいだいてるのが町民の本音だと思うが、町の活性化に対し議員の所感を述べてほしい。

(2) 駒木野公民館

- ・定数が16人になった理由は何だったのか。定数を減らして給料を増やすなら、人数を減らさないで頑張してほしい。
- ・駒木野、下長山地区にある町営住宅や教員住宅の空き家が廃墟になっている。綺麗に管理をしてもらいたい。そうでなければ周辺のゴミを撤去し解体してほしい。
- ・道の駅の経営は大丈夫か。入口は入りにくいし駐車場は止めにくい。
- ・議会では町の特産品を作る事には関与しないのか。

(3) 御明神公民館

- ・県内約8割の自治体が消滅する予測が日本創成会議から出された。議会としても人口減少対策委員会を設置して早い対応を取るべきではないか。
- ・議会だよりに議案に対する議員の賛否を掲載するのは良いが、議員発議が少ないように感じる。もっと行ってほしい。
- ・小学校の統廃合は賛成だが、廃校となる施設の後利用として若者が集まってくるような活用策を考えて欲しい。
- ・食糧生産段階で良いものを作り町おこししてはどうか。健康になり医療費削減にもなる。

(4) 上町一・二公民館

- ・議会だよりを読んだが、町長は質問に対し明確な回答をしていない。議員も、もう少し突っ込んだ質問をしたらどうか。

- ・議会の行政視察レポートを読んだが、視察を踏まえ実践しているという報告はないのか。

(5) 中沼公民館

- ・審議前の議案書や予算書、決算書などホームページ等に掲載し閲覧できるようにできないか。
- ・議会傍聴していると質問が農林部門に集中しているように思える。農業と観光の町であるので観光関連の質問もして欲しい。
- ・町民の意見や要望を、意見箱やメールなどで議員へ伝えられるよう手段を作ってもらいたい。

(6) 大村伝承館

- ・町内で水道が入っていないのは大村地区だけか。県に対してもっと働きかけてほしい。
- ・小学校の統合で1校になると体育館が狭くなるとの意見に回答がないしスクールバスの件も説明が足りない。しっかり説明してほしい。
- ・議員定数をなぜ16人に減らすのか。委員会活動も専門的になり一常任委員会を4、5人で議論することになり、少ないのではないか。



大村伝承館での様子

小学校統合に関する質問や、農業を含め町の将来を心配する声が複数出されました。当局へ回答を求めるものが15件出されました。

町道認定されていない赤線の除雪は現在難しい状況ですが、除雪ボランティアとして地域整備課に登録して頂けたら若干の奨励金制度があるということ、また、教員住宅は荒廃が進み入居ができない状況にあることから予算措置が出来次第解体したい、など当局から回答がありました。詳細につきましては町のHPに掲載していますのでご覧ください。

9 月定例会のあらまし



写真は副議長選挙の様子

25年度決算を徹底審査の上、認定 多面的機能支払等の補正予算を可決

平成 26 年 9 月定例会は、9 月 5 日から 9 月 24 日までの 20 日間の会期で行われました。

本定例会では、報告 1 件と条例制定等案件が 5 件、平成 26 年度補正予算案件が 6 件、契約締結案件が 5 件、人事案件 1 件、その他案件が 2 件あり、これらの計 19 件の案件は全て原案通り可決しました。また、平成 25 年度各会計決算の認定案件 11 件が徹底審査の上、全て認定しました。

請願が 4 件と陳情 1 件があり、うち 3 件を採択し、これを議員発議によりそれぞれの意見書を国及び県に提出しました。一般質問は、7 名が登壇し、多岐にわたり、町政についてたどしました。

総括歳入

問

町民税の未納額が 1,000 万円以上であるが、その理由は。

答

一人で高額な未納はないが、経済的理由での少額未納が積み重なったためである。

問

25 年度末の※財政調整基金調定額が 6 億 8,000 万円であるが、26 年度末で 16 億 7,000 万円にする予定だが、達成できるか。

答

災害復旧事業に充当したものを繰越事業として国に補助金請求をし、決定した場合一般財源とし積み立てる予定。

※財政調整基金…自治体が財源を調整し、計画的な財政運営を行うための蓄え

民生費

問

安心子育て医療費の助成金を福祉の目玉として高校生ぐらいまで広げてはどうか。

答

まずは、この町に若い人たちが住みたいという環境を整えること。教育、保育支援、保育環境の整備など支援の体制を整えていかなければならない。

問

現在、雫石町の保育所での待機児童数は。

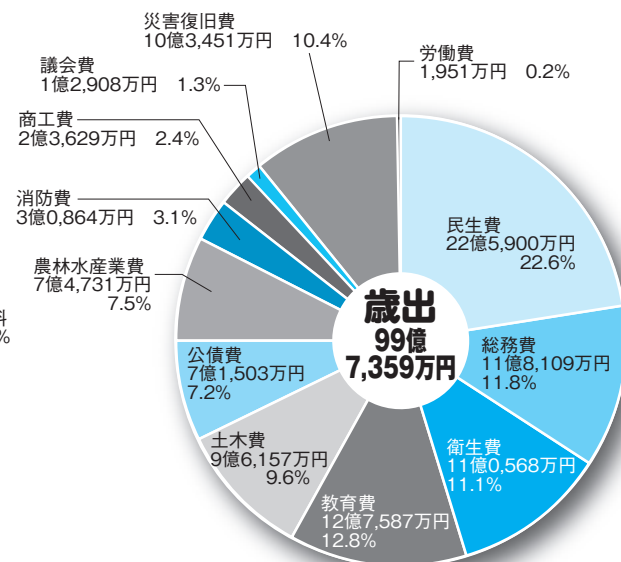
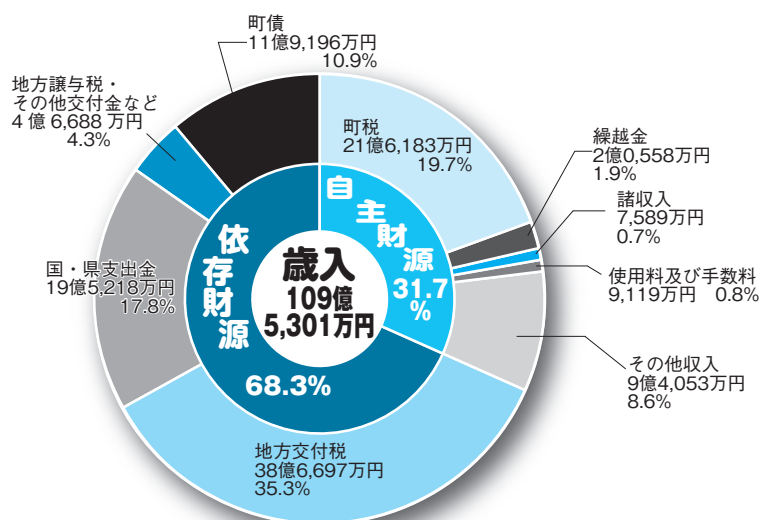
答

4 月 1 日時点ではゼロだったが、その後 3 件の問い合わせがあり、1 名は入所した。あとの 2 名は 0 歳児で、保育士の確保ができないため、現在待機している。

数字で見る決算

一般会計

歳入・歳出の内訳



衛生費

問 長山地内の騒音測定が25年度は無かったが、地域住民から要望があれば測定ができるか。

答 今の段階では、測定しない方向で考えている。

農林水産業費

問 米価で全農からの仮渡し金が低価格となっているが、直近の対策、今後の栗石農業をどうするのか。

答 せっかく米を作付しても赤字では、どうにもならない。今後、国にも県にも要望して、その対応をきちっとやってもらいたいと思っている。

問 牧草地再生対策事業委託料は合計1億5,000万円以上の金額になっている。牧草地の再生実績は予定の何割ぐらいか。

答 昨年度は380ヘクタール、今年度が計画段階では335ヘクタール、さらに27年度は440ヘクタールでほぼ完了となる予定。

商工費

問 銀河ステーションの指定管理料として2,050万円計上しているが、事業の収支結果と利用者の人数は。また、今後の取り組みは。

答 利用者は8万1,000人で前年対比89.8%、収支は25年度2,100万円の赤字となった。今後、1,600万円台の赤字に抑え、道の駅の収入を増やしながら会社全体として経営が成り立つよう取り組んで行く。



多くの利用が望まれる銀河ステーション

土木費

問 除雪を委託している NPO の実績報告書に、約 468 万円が減価償却費として計上され、除雪委託費の中に含まれている。会計原則から見て、NPO 本体の決算で処理し、この費用は町に返金していただくものではないか。

答 費用を返してもらう、もらわないは契約にある通りになるが、常識的に考えると残額は返すべきものと思う。再度 NPO と協議し適正なものにかえさせていただきたい。



除雪費用の適正管理が求められている

教育費

問 雫石川園地の鯉のぼり、桜並木のお花見等、駐車場がなく道路も狭く未舗装を通ると農作業の方も大変なので、国の制度などを活用して早急に整備すべきだと思うが。

答 町としては駐車場の必要性はあると考えるが、関係課と調整をしなければならない。



多くの人が訪れやすい環境整備が待たれる

問

子どもの読書活動の推進に関する法律が施行されたが、雫石町の学校図書費一人当たりの金額と県の平均価格は。

答

当町の町立図書館の場合は、一人当たり 115 円で、県内でも最低ラインとなっている。県の努力目標は一人当たり 400 円となっている。

問

平成 28 年 10 月に国体の開催に当たり、アーチェリー競技会場設計業務委託料とあるがこの競技会場は既に準備されているのか。

答

現在想定しているのは、陸上競技場のメインスタンドから野球場側の方に向かって射る形で設計を進めている。

問

町営野球場を改修したにもかかわらず去年今年と夏の高校野球大会で利用していない。今後利用してもらうよう強烈に働きかけるべきではないか。

答

担当課だけではなく、雫石町、雫石体育協会、雫石野球連盟それぞれの団体が連名で要請文書をもって高野連にお願いしていきたい。



高校野球の復活が望まれる町営野球場

国民健康保険特別会計

問

一人あたりの給付費を抑え、収納率をあげるため、どのような取り組みを行ったか。

答

医療費を抑制するために、特定健康診査の受診率の向上の対策を行った。また、*ジェネリック医薬品の周知、医療費の通知などを行って、医療費がいくらかったか確認してもらうことも行っている。

問

一般被保険者療養費の1,000万円の減は、疾病が減ったということか。

答

疾病の分析によると、心臓手術など高額な支出の疾病が若干少なかった。生活習慣病予防に検診を行うことも、医療費が抑えられた要因と考える。

※ジェネリック医薬品…これまで有効性や安全性が実証されてきた新薬と同等と認められた低価格な薬

介護保険事業勘定特別会計

問

第5期介護保険事業計画は26年度で終了し、平成27年度からは第6期が始まるが、計画に対して25年度の状況はどうか。

答

介護給付費は前年より9.2%伸びている。要介護、要支援者の人数が増えサービスの利用も増加した。計画の第1号被保険者負担割合、法定割合21%が確保できなかったため、介護給付費準備基金から2,330万円補填した。

総括

意見

町民生活は、米の低価格等で不安感が強くなっている。復旧復興の完遂^{かんすい}と、町民生活の福祉向上に重点を置いてもらいたい。

討論

平成25年度の一般会計、特別会計および企業会計決算を認定することに対する討論が行われました。その要旨を紹介します。

賛成

幅 秀哉議員



訪問診療や出張診療の開始、土曜診療の取り組みなど、町民の健康に対する考え方の基礎をつくるべく取り組んだ。町民の生活の

安心、安全に向けた取り組みが具体的に計画されていることや災害復旧の工事発注見通しが8割方終了し、厳正に工事が進み、懸命に取り組んでいる。

また国保税は結果値上げとなったが、国保税財源の根幹にメスを入れ、前進に向かった。財政の基盤である町税徴収率も前年比、わずかでも上回ったことなど、行政として懸命に努力している。

反対

西田征洋議員



地方債年度末残高の減少幅が小さくなってきて、いざとなったら危うさが露呈するということを指摘してきた。

災害により、極めて厳しい局面をむかえ、その弱点が露呈し、次年度の国保税値上げに通じてしまったことは、今後地方債残高に対する運営への大きな教訓とすべきである。次に、一連の役場の不祥事の対応の曖昧さ、さらには町道除雪委託事業でのやりとり、網張温泉の源泉掘削をめぐる対応では事の本質に確信を持って執行したのか。

当決算では、町民の要求、要望に込えているか疑問がある。

町当局に 4 項目の意見を提言

意見

1

農業の生産状況や生産量の比較が経営改善に役立つため、雫石農業の基礎的なデータ、資料を整備しておくべき。



意見

2

御明神グラウンドを災害のゴミ等々の仮置き場として使用したが、その後の安全対策が何も施されず大変危険な状態。早期に対策が必要では。



意見

3

雫石診療所は、職員の前の通路を通るので入りにくいとの意見が多い。人の目を気にせず気軽に入れるようにしてほしい。



意見

4

除雪委託について再度丁寧な精査をして、行政の説明責任を果たすべき。



監査意見



意見を述べる
枇杷代表監査委員

監査委員による監査は、公営企業会計 6 月 30 日、一般会計並びに各特別会計、基金運用状況、財産調書は 7 月 22 日から 8 月 12 日まで行われました。

決算審査意見書の中から、一般会計について内容を要約してお知らせします。

決算意見書

町税を主とする自主財源は、31.7% を占め、前年度の 32.8% と比較し 1.1% 減少している。依存財源は 68.3% となっており、

昨年度の 67.2% と比較して 1.1% 増加している。また、歳出額が増となったものは、災害復旧費 9 億 1,453 万 6 千円をはじめ教育費などで、減となったのは総務費 1 億 9,299 万円、議会費などで、差し引き合計は 15 億 1,273 万 7 千円の増となっている。

町債の発行額は、昨年度に比べ 6 億 3,714 万 2 千円増となっており、その要因は災害復旧債、土木債の増によるものである。

今後とも発行額と償還額のバランスを考慮し、堅実な運営を望む。

条例の制定

○雫石町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

児童福祉法の改正により、家庭的保育事業等が国の財政支援を受けられるようになったことから、その施設の設備及び運営に関する基準を定める必要が生じたため、町条例で定めるもの。

○雫石町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

子ども・子育て支援法の施行に伴い、市町村の確認がなければ運営費を受けられなくなる制度となったことから、認定こども園、幼稚園、保育所、家庭的保育事業等の運営に関する基準を定める必要が生じたため、町条例で定めるもの。

○雫石町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

児童福祉法の改正により、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準が定められたことから、これを条例で定める必要が生じたため、制定するもの。

平成26年度補正予算（主なもの）

○一般会計補正予算（第3号）

補正前の額	補正額	計
88億9,242万5千円	3億660万5千円	91億9,903万0千円

▶ 役場庁舎前駐車場側溝改修工事費	1,726万9千円
▶ 財政調整基金積立金	1億0万0千円
▶ 多面的機能支払事業費（増）	3,573万8千円
▶ 鶯宿温泉源泉ポンプ更新工事補助金	311万1千円
▶ 鶯宿温泉源泉ポンプ更新工事負担金	△71万1千円
▶ 道の駅温泉ポンプ更新工事費（増）	1,044万6千円
▶ 体育館暖房設備設置工事費	4,500万0千円

○主な質疑

問 多面的機能支払事業費として、3,573万8千円が増額計上されているが、従来から取り組んでいる農地・水・環境保全向上対策事業から移行した分も含んでいるのか。また、従来の組織数と新規の組織数は、いくつか。

答 当初予算には、昨年度まで農地・水・環境保全向上対策事業を実施していた8組織が移行する分2,189万7千円を計上していたが、今回は新規の19組織分を計上した。

問 鶯宿温泉源泉ポンプ更新工事補助金は、6月定例会に補正予算計上し、提案されたが取り下げた経緯がある。前回、計上したものとどう違うのか。

答 6月定例会時点では、工事費の約7割の助成を提案したが、他の株主が負担金を出さない中で、町だけが負担金を出すことを見直し、工事費の1/2を補助する内容に変更した。

なお、旭の湯源泉、杉の根源泉の2ヵ所分の工事費の1/2を補助金として計上し、当初予算で杉の根源泉の工事費の負担金として計上していた金額は減額することにした。



鶯宿温泉旭の湯源泉ポンプ場

問 道の駅雫石あねっこ源泉ポンプ更新工事費が1,044万6千円増額計上されているが、割高ではないのか。今までは、深部井戸用ポンプだったが、今度は温泉用ポンプにするのか。

答 施工の段階で、ケーブル、ポンプの種類等、十分精査の上、対応しなければならなくなった。

今度、更新しようとするポンプ、ケーブルは温泉用で掘削振動にも対応できる機種である。



交換した、道の駅源泉吸い上げポンプ

○国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

補正前の額	補正額	計
20億5,162万2千円	1億761万1千円	21億5,923万3千円

▶一般会計繰出金 8,580万9千円
▶国庫支出金等返還金 2,042万9千円

○主な質疑

問

歳出の一般会計繰出金が8,600万円程と多額になっているのはなぜか。一方、歳入も前年度繰越金が1億円以上も計上されているが、このように多額になったのはなぜか。

答

前年度繰越金が多額になった理由は、国庫補助金・負担金の交付が当初の予定より多かったこと、国保税収が伸びたこと、保険給付費が当初の予定より少なかったことに加え、一般会計から繰り入れた分も余ったことによる。今回の補正では、国から多く受け取った分を国庫支出金等返還金として返し、さらに余った分を一般会計に返還するものである。

問

保険給付費は、減少したのか。また、その要因は何か。

答

保険給付費は、若干減少した。その要因は、一件当たりの医療費が多額にかかる方が少なかったことや、インフルエンザの流行等も少なかったことによる。

こうなりました請願・陳情

○請願第4号 政府による緊急の過剰米処理を求める請願（採択）

提出者＝雫石町農民組合 太田 勲

減反が廃止になることが決まり、農家も自立の準備が必要だが、まだ確実に将来の方向を定めていない農家が多いのが実情であるため、現状では過剰米処理を必要とすることから採択とした。

なお、現在の米販売は自由市場、自由価格で流通しており、国で買い取る必要がないとの少数意見もあった。

また、これに関する意見書（備蓄米買い入れをはじめ、政府の責任で緊急に過剰米処理を行うこと。）を議員発議（発議第1号）し、国会および関係省庁に提出しました。

○請願第7号 私学教育を充実・発展させるための請願（採択）

提出者＝私学助成をすすめる岩手の会 会長 新妻 二男
私立、公立の学費格差をなくし、生徒が学費を心配せずに安心して学べる環境が必要であるということから採択とした。

また、これに関する意見書（私立高校に対する私学助成金をさらに充実させることを求めます。）を議員発議（発議第2号）し、国会および関係省庁並びに岩手県に提出しました。

○陳情第5号 被災者の医療費窓口負担の免除継続を求める陳情（採択）

提出者＝岩手県保険医協会 会長 南部淑文

被災された方の健康を保持するためには医療機関の受診が妨げられない環境が必要であるということから採択とした。

また、これに関する意見書を議員発議（発議第3号、発議第4号）し、国会および関係省庁と岩手県に提出しました。

発議第3号は、①国は、被災された方の医療費窓口負担免除を今後も継続して下さい。②国は、被災された社保の方の医療費窓口負担の免除を復活させて下さい。

発議第4号は、県は被災された方の医療費窓口負担免除を2015年1月以降も継続して下さい。

人 事



○教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて

雫石町教育委員会委員5名のうち1名の任期満了に伴い、新たに委員を任命することに同意した。

氏 名 いわもち ときこ 氏

（59歳 岩持行政区）

任 期 平成26年10月1日～

平成30年9月30日

平成 26 年第 6 回 雫石町議会 9 月定例会 議決結果等一覧 会期：9 月 5 日(金)～9 月 24 日(水)

議案等 番号	議員名 件名	田 屋 錦 愛 子	幅 秀 哉	岩 持 清 美	山 崎 留 美 子	加 藤 眞 純	杉 澤 敏 明	川 口 一 男	前 田 隆 雄	西 田 征 洋	谷 地 善 和	田 中 栄 一	大 村 昭 東	上 野 三 四 二	坂 下 栄 一	坊 屋 鋪 俊 一	平 子 忠 雄	村 田 厚 生	採 決 結 果
議案第 1 号	雫石町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 2 号	雫石町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 3 号	雫石町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 4 号	雫石町ひとり親家庭医療費給付条例の一部改正について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 5 号	雫石町営住宅等管理条例の一部改正について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 6 号	平成 26 年度雫石町一般会計補正予算(第 3 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 7 号	平成 26 年度雫石町国民健康保険特別会計補正予算(第 1 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 8 号	平成 26 年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 9 号	平成 26 年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計補正予算(第 1 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 10 号	平成 26 年度雫石町立雫石診療所特別会計補正予算(第 1 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 11 号	河川災害復旧(25 災 399 号)工事・河川災害復旧(25 災 582 号)工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 12 号	河川災害復旧(25 災 485 号)工事・河川災害復旧(25 災 486 号)工事・河川災害復旧(25 災 584 号)工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 13 号	(仮称)町道 上野沢 5 号線道路新設工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 14 号	河川災害復旧(25 災 303 号)工事・道路災害復旧(25 災 426 号)工事・河川災害復旧(25 災 671 号)工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 15 号	河川災害復旧(25 災 587 号)工事・河川災害復旧(25 災 588 号)工事・道路災害復旧(25 災 595 号)工事・道路災害復旧(25 災 596 号)工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 16 号	財産の取得に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 17 号	町道路線の廃止について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 18 号	平成 26 年度雫石町一般会計補正予算(第 4 号)	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第 1 号	平成 25 年度雫石町一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	欠	○	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	認定
認定第 2 号	平成 25 年度雫石町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第 3 号	平成 25 年度雫石町御明神財産区特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	欠	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第 4 号	平成 25 年度雫石町下水道事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第 5 号	平成 25 年度雫石町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第 6 号	平成 25 年度雫石町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第 7 号	平成 25 年度雫石町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第 8 号	平成 25 年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第 9 号	平成 25 年度雫石町立雫石診療所特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第 10 号	平成 25 年度雫石町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第 11 号	平成 25 年度雫石町水道事業会計決算	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
同意第 1 号	教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
発議第 1 号	政府による緊急の過剰米処理を求める意見書の提出について	○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第 2 号	私学助成の充実を求める意見書の提出について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第 3 号	被災者の医療費窓口負担の免除継続を求める意見書の提出について(国)	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第 4 号	被災者の医療費窓口負担の免除継続を求める意見書の提出について(県)	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成、●…反対 欠…欠席 ※石亀議長は採決には加わりません。

9月定例会

一般質問 町政を問う7議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

質問者	質問内容	掲載頁
 おおむらしょうとう 大村昭 東議員	町民所得10%アップの 手段方法は	13
 いわもちきよみ 岩持清美議員	診察時間延長はできないか	14
 はば ひでや 幅 秀哉議員	人口減をくいとめる方策は	15
 にしだ まさひろ 西田征洋議員	今年のコメの概算金の 見通しと生産量は	16
 やまざき るみこ 山崎留美子議員	地産地消の推進で食育を	17
 うわの みよし 上野三四二議員	子どもたちの防犯対策は	18
 すぎさわとしあき 杉澤敏明議員	町有地活用事業の 進ちょく状況は	19

新議員紹介

平成 26 年 10 月 19 日の町議会議員補欠選挙で当選した 2 名の議員です。任期は平成 27 年 7 月 30 日までです。よろしくお願いします。



よこて としあき
横手 寿明議員
(45 歳 林行政区)

担当する委員会：総務常任委員会、
議会広報編集特別委員会、豪雨災
害対策調査特別委員会



やまさき よしくに
山崎 芳邦議員
(69 歳 小松行政区)

担当する委員会：教育民生常任委員
会、議会広報編集特別委員会、豪雨
災害対策調査特別委員会

町民所得10%アップの 手段方法は

町長／後期の基本計画等に
組み込みたい



町民の声、クレーム、
もっともつと現場に
目を向け、町民を
大切にしてほしい。
これが公僕精神です。



軽トラ市で賑わう商店街

問 町民所得10%アップに、どのような手段方法で取り組むのか。

町長 27年度に見直しする後期の基本計画等々に組み込みたいと思っている。

問 中心商店街の活性化のために、どのような政策を打ち出すのか。

観光商工課長 ワークショップの結果をもとに検討を進める。

問 これからのまちづくりの理念、政策、施策と、それを展開する手段・方法は。

町長 これからの社会情勢を踏まえ、計画的かつ総合的に諸施策を講ずる。

問 農業・商工業・観光などサービス業振興のため、どのような新しい機軸を起こすのか。

町長 基幹産業の農業と観光がこれまで以上に効果的に展開されるよう取り組む。

問 町行政における役場庁舎内外からのクレーム、町民の声に対する対応処理、そのための職員の意識改革、課題解決力の向上にどのように取り組んでいるか。

町長 クレーム等については、それぞれの担当課が誠意をもって対応しており、多くの場合はその場で解決しているが、解決まで相応の期間を要する場合もある。

問 米価3千円の時代が予測されるが、どのような農業政策を打ち出すのか。

農林課長 農業者団体等を含めいろいろ検討させていただきたいと思っている。

問 農業総生産5%アップはどういう手段方法で達成するのか。

農林課長 観光・商工業との連携も含めて施策を講じながら取り組みたいと思っている。

問 まちづくりの理念に産業を入れるべきでないか。

町長 新しい基本計画に盛り込んでいきたい。

問 赤線道路の整備をどうする考えか。

地域整備課長 優先度を考え順次整備する。

■他にこんな質問もしました

- ・上野沢牧野から千沼ヶ原への登山道について
- ・職員の「サービスの宣誓」について
- ・生活道路整備について

診察時間延長はできないか

町長／状況を見ながら対応したい



出張診療所の利用者が少ないのは、診察時間が短いこと、診察内容が限定されているからだ。

町指定天然記念物と雫石十景の管理は

問 町では、指定記念植物6ヶ所と雫石十景を選定しているが、雫石の自然の豊かさと景観の良さを証明するものである。その定期的な点検などの管理が必要と考えるが現状はどうか。また、どう周知していくか。

町長 雫石町文化財保護条例で、指定文化財の管理は所有者が行うことになっている。雫石十景については、設置できない景勝地を除いた7ヶ所に石碑を建てているが、案内や管理は不十分な状態となっている。周知は、天然記念物は町のホームページに掲載しており、一部は町の観光パンフレットにも掲載している。今後改訂を予定しているドライブマップの掲載なども視野に入れ、周知に努めたい。

問 西山出張診療所、御明神出張診療所は地域医療の中心として再開が待たれていたが、8月の利用状況はどうか。また、診療時間が短いという声があるが、診療時間の延長はできないか。

町長 8月の受診者数は、西山が延べ4名、御明神が延べ8名の計12名となっている。診察時間の延長については、今後患者数が見込みより増える場合、状況を見ながら対応したい。



案内板、説明板の設置が望まれる
天然記念物、七ツ田の弘法桜

- 他にこんな質問もしました
- ・技師、学芸職員について
 - ・林業技術職員の確保について

人口減をくいとめる 方策は

町長／全庁を挙げた体制で
対策を進める



盛岡・滝沢にいる
栗石のワゲフタジ、
いっぺいるんだよ
な！

問 本町も自然人口減少が続いているが、定住対策もふくめて、人口減少をくいとめる方策は考えているか。

町長 平成 31 年の推計人口 16,500 人に對し、目標人口 16,800 人と設定し、住環境の整備、就労支援、医療、福祉、教育等における諸施策を講じ、各分野における定住対策を進めている。日本創生会議・人口減少問題検討分科会の提言などを参考としながら、全庁を挙げた体制で定住促進対策を進める。

地域コミュニティ組織の 充実を図るべき

問 地域コミュニティの活動が活発になってきているが、相応の権限の委譲や財源の確保をして更に充実させるべきでは。

町長 平成 24 年度から地域の問題解決と活動の活性化を図るため、住民が防災、防犯、交通安全、環境保全、景観などの視点で地域を歩き、地域点検を実施している。地域の課題を地域で解決できるつながりの強いコミュニティを行政が支援する体制や施策を整える事が大切である。



防災訓練時の地域コミュニティ活動（西山公民館）

小学校適正配置の実施時期と 跡地利用の具体的見解は

問 小学校適正配置の時期と跡地利用の具体的見解を示すべきであるが、どう進めるのか。

教育長 基本計画は平成 28 年 4 月が目安であるが、統合対象の小学校の PTA 意思を尊

重し、PTA より統合に向けた準備を進めたい意思が示された時を合意形成と判断する。統合準備委員会と並行して、地域のシンボルとしての価値を残し、地域に貢献できる跡地利用の具体的提案をする。

■他にこんな質問もしました

- ・定住促進住宅の入居条件
- ・防犯灯・街路灯の維持管理の点検を委任できないか

今年のコメの概算金の見通しと生産量は

町長／概算金は下がり、生産費は上がると予測



コメの
生産者
の収入
が減少
する
ことが
懸念
されています

問 今年の生産者米価、全国の概算金が大幅に下がっている、主力のあきたこまちが現状より 60 kg 当たり 3 千円下がれば町全体で米の生産者の取り分がおよそ 6 億 5 千万円あまり収入減となる勘定だ。(後で概算金の減少は 3 千 3 百円と発表された。) 雫石農業の危機だと思っている。町の認識と対応は。

町長 米の価格予想のはっきりした数字は現時点で出ていないが消費税増税や資材、燃料費の値上がりで経費は増している状況だ。危惧される事態であり、TPP も含めて国に訴えているところだ。

意見 米価下落は、TPP 参加を前提にした国の米の需要調整の放棄という政策誘導で引き起こされたものであり、農業危機突破・TPP 粉碎で町の決起集会を開くことを求める。

農業委員会変質の策動をどう受け止める

問 農業関係者の知らない所で、財界が中心になって農協、農業委員会の機構いじりは TPP 反対封殺という動機もあると思うが。

農業委員会会長 地域の信頼を得るという現在の公選制を含む農業委員会の形態は農地の権利移動という秘密事項の多いものも扱うことと、意見の公表、建議という任務も重要であり、この公選制と事務局体制の維持は必要だと思っている。

網張源泉工事の契約について

問 地方自治法第 234 条に、自治体は工事を契約で行うこととされている。網張源泉 4 号新湯の掘削工事で契約書を結んでいるか。

町長 4 号井の工事は網張温泉が行う契約で町が補助金を出すもの

観光商工課長 平成 10 年の契約書をもとに覚書を交して、契約書の内容を確認し工事を進めている。

意見 新湯でもあり掘削場所も違うのに新たな契約書もないまま、今までの慣例通りでよいというのでは、以前の道の駅での温泉掘削での大失態から何も学んでいない。利権がらみ、地方自治法違反の疑いありと受け取られかねないやり方だ。



深刻な米価下落で農家収入の減少が懸念される

地産地消の推進で 食育を

町長／産直の力を引き出し進めたい



『秋深し、ウラの
畑ではカボチャが
大豊作♪並べて
ニンマリ地産地消
：と思つたら狸が
かじつた後が…』

問 町内の保育所や小中学校給食で活用している雫石産の米や野菜は、地産地消の推進と食育につながるが、将来的な数値目標と普及の見通しをどう立てているか。

町長 21年に策定した食育推進計画で、町内産食材使用割合を25年度目標で米は100%、野菜は38%に掲げた。米は達成したが、野菜は23年度27.6%、25年度は23.3%と下回る結果となった。

問 下がった原因と現在の課題は何か。

町長 計画策定時に納品していた生産者の高齢化と、規模縮小で納品体制が整わなかったことや、昨年の豪雨災害で出荷量が不足したことも一因。使用頻度の高い野菜の生産や、給食調理の体制に合致した納品システムの構築が課題だ。

学校教育課長 産直や生産者と直接取引あるいは連携かで大きく差がある。14.3%まで落ちた小学校もある一方、上長山小と松の実さんの連携で74.3%と飛び抜けて高い所もある。一つの成功モデルとして、産直の力を引き出すような施策で当初目標の38%はクリアできると考える。

問 学校間の格差と課題を認識しているのであれば、行政が新たな納品体制を構築する機会と捉え、取り組む必要があるのではないか。

農林課長 学校教育課の意見を参考とし、町内6つの産直協議会や勉強会等含め地産地消を推進していきたい。



雫石産の野菜で食育の推進を

問 雫石診療所での入院患者の給食は約1,600万円の外部委託だが、町内産食材の積極的利用を依頼しては。

健康推進課長 雫石産を利用するよう交渉はしていく。

未来志向で大胆な発想を

問 14ヘクタールの町有地は、この3年間かなりの公金を活用し進めて来た。大胆な発想かもしれないが、大学のサテライト等、定住化政策も視野にいれ取り組む考えは。

町長 地域の交流を含めたもので、という話は懇談会でもあった。現在内容を集約している段階だ。

子どもたちの防犯対策は

町長／安全対策は地域住民と皆で



先生を
ベテラン先生が
指導する？
生徒も先生も
頑張っている。
頑張ってほしい。

問 毎日のように奇怪な事件、学童が巻き込まれる異常で痛ましい事件がある。町内でも不審者の声かけや、オレオレ詐欺など事件を聞くが、通学路や街路に防犯カメラの設置が必要ではないか。また、こども 110 番の家の機能点検、緊張感を持って防犯活動強化が必要である。マンネリ化してないか改善強化策はどうか。

町長 今年町内で 10 件の不審者情報があり、小学生への声かけ事件もあった。オレオレ詐欺など特殊詐欺は既に 3 件 1100 万円の被害額があり年々激動している。防犯カメラは犯罪抑止に効果的でもあり町独自で設置を検討したい。現在は安庭小学校にある。110 番の家は急ぎ機能点検したい。児童、町民の安全のため、スクールガード、地域コミュニティ、警察署、防犯交通安全協会など連携を深めたい。

国県の災害復旧工事促進を

問 昨年 8 月豪雨災害の国県所管の工事が遅れているため、町民生活に不安と支障をきたしている。進捗状況と見通しを確認したい。

町長 町の公共土木施設 99 カ所は 25、26 年度合せて発注率 90%、林道は 91% となっている。農地・農業用施設は今年度中に全て発注となる。県管理分の河川 34 カ所、道路 33 カ所とも未発注分は 8 月までに発注となり、残り全て今年度中発注予定と聞く。国管理のうち山津田と雫石川は平成 27 年度、御所ダム区域の矢櫃川と南川は今年中と聞いているが、いずれも復旧工事の促進を要請していく。

全国学力テスト結果の公表は？

問 今年 4 月の学力テストにおいて本町の結果はどうか、公表は教育委員会に委ねると言うが、学校別公表はするのか。

教育委員長・教育長 小学 6 年生と中学 3 年生を対象に 4 月 22 日全国一斉に実施された平成 26 年度全国学力・学習状況調査の結果は、町内小学校 6 年生の国語、算数いずれも全国、県と数値はやや下回るものの全国並み、中学 3 年生の国語はやや下回るが、数学は全国、県を上回る結果となった。雫石中学校では、数学・英語・理科の 3 教科を学力向上支援事業として、教員指導力向上プロジェクトを実施しており学力向上につながったと思える。学校別の公表は、序列化や過度の競争比較につながりかねないため公表はしない。各種研究会や学習指導に取り入れ学力育成を図っていく。

町有地活用事業の 進ちよく状況は

町長／早期の事業化に向け取り組む



モデルプロジェクトは深谷町政の中核だ。町民に分かりやすく、効率的な事業をスピード感をもって進めてもらいたい。

問 町総合計画推進モデルプロジェクトは、平成23年度から早稲田大学との共同研究として進めてきているが、現時点の町有地14ヘクタールの事業化はどうなっているのか。

町長 今年度は町有地活用懇談会を設置し、早稲田大学都市・地域研究所のサポートを受けながら、これまでに懇談会を3回開催し、終了している。これまでのプロジェクトの経緯、高齢者の住まいと地域づくりの先進事例などを踏まえ、①自然環境と景観を生かした子供の環境学習の場の提供 ②元気高齢者や障がい者の農業生産を通じた活動の場の創出 ③予防介護や健康づくりの取り組みの強化 ④高齢者や若者の移住を促進する住まい ⑤6次産業化や※インキュベーションを推進した農業者等の人材育成 ⑥地場産材や太陽光エネルギーを活用した地域エコシステムの構築などの提案をいただいている。現在この提案を踏まえ、基本計画案、方向性について取りまとめを進めている。今後は、事業参画の意向がある事業者とともに、勉強会を開催し、検討を進めることとしており、できる限り早期の実用化に向け取り組んでいく。

問 雫石中学校スーパーエコスクール基本計画に基づき、事業を実施しようとしているが、生徒減少により遊休教室があるうえ、築40年の校舎に※アトリウムを増築するなど問題が多過ぎるのではないか。

町長 耐震工事をした。環境整備し、あと20年使用したいと思っている。

矢櫃地域へも水道整備を

問 地形上むずかしい箇所もあると思うので、効率性の高い地域から整備する方法もあると思うがどうか。

上下水道課長 地形上全世帯を網羅することは難しいと思うが、そういう所は水道未普及地域支援事業で対応し、効率性の高い地域は水道整備をしていく必要があると思っている。



事業化の用途が決まっていない14ヘクタールの町有地

※インキュベーション…発想などの育成段階。優れた起業家の育成や新しいビジネスを支援すること。

※アトリウム…ガラスなど光を通す材質の屋根で覆われた大規模な空間のこと。

■他にこんな質問もしました

- ・町長のマニフェストに掲げたまちづくり基本条例を作らなかったのはなぜか。

行政視察レポート～教育民生常任委員会～

7月16日から18日まで閉会中の継続調査に関わる項目について、視察研修調査を行いました。（加藤眞純委員長他9名）

【研修先及び研修事項】

- (1) 長野県南佐久郡川上村
ヘルシーパークかわかみ（保健・福祉・地域医療の一元化）について
- (2) 山梨県北杜市
三代校舎ふれあいの里について

【研修内容】

○川上村「ヘルシーパークかわかみ」 保健、福祉、地域医療の一元化を学ぶ。

1) 川上村の4つの誇り

①地域産業力

- ・日本一のレタス出荷量：
62,604 トン（年間）
- ・日本一の農業就業人口割合：
38.2%
- ・農業後継者平均年齢：30歳
- ・日本一の農家率：50.2%
- ・耕作放棄地：皆無

②労働力

- ・地域内就業率：93.7%
- ・自宅就業率：72.8%
- ・女性就業率：63.3%
- ・県下最低の完全失業率：1.5%
- ・外国人実習生：800名以上
（国保加入、主に中国人）

③老人力

- ・日本一の健康老人率（介護非認定）：85.1%
- ・高齢者就業率：50.3%
（高齢者が元気ということ）

④健康力

- ・国保一人当たり年間医療費：
170,731 円
（平均年齢が若く、老人の就業者が多く通院が少ないため）
- ・日本一の国保加入率：62.4%
- ・日本一安い国保税額：
104,678 円（一人当たり）
（医療費と国保税額との差額：
66,053 円、一般会計からの繰り入れ無し）

- ・後期高齢者年間医療費：
679,912 円（一人当たり）

以上の4つの誇りを支えているのは、ヘルシーパーク構想である。

保健・福祉・医療・介護の一体化一元化のため、その関連施設をヘルシーパークに集中させている。

2) その他

- ①村営バスの方針…スクールバスと統合等
- ②インターネット普及率は50数%…自主放送、独自番組等

川上村のヘルシーパーク構想は20年をかけて実施している。現状維持ではなく、常に「さらに、より良いものを。」という意識がとても高いと感じた。

65歳以上でも50%を超える方が農業に従事し、元気な老人が多いとのこと。今年度からは「敬老会」ではなく「長生き健康感謝祭」とするなど、村の創意工夫が随所に感じられた。



一面に広がる川上村のレタス畑

○北杜市「三代校舎ふれあいの里」 廃校後の利活用を学ぶ。

明治・大正・昭和の3時代に建築された校舎を現存場所に復元し、それぞれが独自の形態で運営されていた。文部科学省の廃校利用50選に入っている。

1) おいしい学校（昭和校舎）：

第3セクター管理運営
平成12年、宿泊、レストラン、パン工房、ハーブ湯という名の総合観光施設として生まれ変わったもの。

イタリアン料理がメイン。平日なのにランチ客が多数。

宿泊は12畳和室タイプが6部屋。

2) 大正館（大正校舎）：

住民による管理委員会で運営
平成9年の県営中山間地域農村活性化総合整備事業で復元された農業体験農園施設。

主に、都会の小学生が田植え、稲刈り、そば打ち等の体験（有料）をしている。

一度に100人ほど受け入れることもあるという。



大正校舎を復元し農業体験施設として活用

3) 津金学校（明治校舎）：

NPOによる運営
藤村式建築の擬洋風木造校舎で、昭和63年に解体、平成元年に復元され須玉町歴史資料館として活用されている。



明治校舎を歴史資料館として活用

北杜市では、改築や建て替えにより、それぞれの個性のある建物を残し、利活用している。そして、そこに常連客やリピーターが多く訪れている。当町も、小学校跡地利用を考える際に、利用者が「また訪れたい」と思うような施設にしていかなければならないと感じた。

常任委員会●活動報告

調査実施日／
平成26年9月10日

調査項目／
所管事務調査、請願審査

総務

総務常任委員会(前田隆雄委員長)は、以下の所管事務調査を行いました。

1. 所管事務調査(9月10日)

出納課、税務課、企画財政課、町民課、総務課、防災課から聞き取り調査を行いました。

【出納課】今後三カ月間の収支の見通しについて

【税務課】26年8月現在の町税収納成績調査比較表にてH25年とH26年の収納率、収納額について

【企画財政課】特定地域再生事業補助金交付要綱と町有地活用基本計画などについて

【町民課】火葬場・墓地公園の運営管理体制の今後についてや特定健康診査等について

【総務課】H28年実施の国民体育大会についてや土地改良区事務所水洗化工事などについて

【防災課】地域防災計画の3月完成予定やみちのくコココーラボトリング(株)と災害時における飲料の確保に関する協定締結などについて

以上、それぞれ説明を受けました。

請願第6号の消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願書は不採択としました。

閉会中の継続調査事項は次のとおりです。

1. 町交通体系のあり方について
2. 空き家、廃屋対策について
3. 定住促進について

調査実施日／
平成26年7月8日、24日、
8月15日、28日、9月10日

調査項目／
所管事務調査、請願審査、現地調査

教育民生

教育民生常任委員会(加藤真純委員長)は、以下の所管事務調査を行いました。

1. 所管事務調査(7月8日)

雫石中学校スーパーエコスクール実証事業、小・中学校の不登校の実態報告を学校教育課から受けました。

2. 所管事務調査(7月24日)

社会教育課から町営クロスカントリースキー場圧雪車購入について、学校教育課からスーパーエコスクール実証事業について説明を受けました。

3. 所管事務調査(8月15日)

学校教育課からスーパーエコスクール実証事業計画変更の聞き取り調査を行いました。

4. 所管事務調査(8月28日)

雫石診療所9月定例会補正予算、土曜診療、出張診療所の受診者数について説明を受けました。

学校教育課から、小学校統合に関する保護者アンケート調査結果(回答69.9%)、社会教育課からは、町営体育館暖房設備整備計画について(観客席が寒い)説明を受けました。

5. 所管事務調査・請願陳情調査(9月10日)

現地調査・雫石中学校エコアトリウム増設予定場所他職員室、図書館、屋上など実態を確認しました。

学校教育課、福祉課から聞き取り調査をしました。

請願第7号、陳情第5号を審査し、採択としました。

閉会中の継続調査事項は、次のとおりです。

1. 小学校の適正配置について
・廃校後の利活用
2. 訪問診療の推進について
3. 高齢化対策について

調査実施日／
平成26年6月27日、7月23日、
8月11日、29日、9月5日、10～12日

調査項目／
所管事務調査、請願審査

産業建設

産業建設常任委員会(上野三四二委員長)は、以下の所管事務調査を行いました。

1. 所管事務調査(6月27日)

・(株)しずくいしの決算について

2. 農業委員との意見交換会(7月23日)

・災害復旧農地の現状耕作放棄地対策についての意見交換

3. 所管事務調査(8月11日)

・土地改良区水路通年通水について
・平成25年度除雪事業について

4. 所管事務調査(8月29日)

・鶯宿温泉開発源泉、道の駅源泉ポンプ交換について
・除雪事業について

5. 常任委員会(9月5日)

・委員長選出(上野三四二委員を委員長に選出)

6. 所管事務調査・請願陳情審査

(9月10日、11日、12日)

- ・現地調査(JA営農センター・源泉ポンプ交換地)
- ・所管各課25年度決算の要点について
- ・請願第4号 政府による緊急の過剰米処理を求める請願は賛成多数で採択としました。
- ・陳情第5号 全員一致で不採択としました。

閉会中の継続審査事項は次のとおりです。

1. 被災農地及び農業用施設の復旧の進捗状況について
2. 多面的機能支払制度における実態について
3. 予定されている減反廃止に伴う雫石農業の現状と課題について



議会へのひとこと ——皆さんの声を聞きました



なかがわ れいこ
中川 麗子さん
(52歳・小松行政区)



たかはし
高橋 トミさん
(84歳・矢横行政区)



だいばう のりひと
大坊 紀仁さん
(44歳・土橋行政区)

雇用の場の確保を

日頃は、議会に対して特にご意見を申し上げる事もないのですが、自分の子も他県に住んでおり、こちらで働けるような職場があり、生活していければ、すぐにでも呼び戻したいと思っている今日この頃的心境です。町政に対し、雇用の場の確保や就労支援などを働きかけて欲しいなと思います。

年間、数回視察などに行っていると聞きますので、それを活用しているのかどうか、私達には見えてきません。

身近な人が議員になると、議会にも少しは関心が出てきて、いままでは、広報もすぐにリサイクルへ回していましたが、今はじっくり目を通すようになりました。

町民の代表として、少しでも多くの声を拾い上げて、住みやすく、過ごしやすい町になるよう頑張ってください。

超後期高齢者の 世迷言

昨年の8月9日、かつて遭遇した事の無い大災害でした。山と田畑も全て濁流にのまれ、道路は寸断され、本当に恐ろしいものでした。しかし、町長さんをはじめ、町議会議員の皆さん、役場職員の皆さんの迅速な対応、そして夜も明けない中から、崩壊した山を越え、救援物資（おにぎり、パン、水など）を背負って届けてくれた自衛隊の皆さん、早速お見舞いに駆け付けて下さった議員の方々、本当にありがとうございました。どこから手を付けばいいやら茫然としている時、調査も進み、復旧工事も次々と進み、聞くところによれば、他町村より速い復旧だと聞き、これも皆様方の御尽力の賜と深く感謝しております。

さて、話は変わりますが、楽しみにしている朝ドラ「花子とアン」が終わり、「マッサン」が始まりました。よそ者のエリーさんが可哀想でなりません。最近雫石によそ者という言葉が聞かれ、流行語？になっている様ですが、これは子供達にとっても、悪影響を及ぼすのではないかと心配されます。まして、この雫石に憧れて移住される方々に対して失礼な言葉だと思います。地元で生まれ、地元で育った人達にも様々な人がいます。よそから移住される方々は優秀で、いろいろな知識、文化を備えた立派な方々が多いのです。よそ者などという言葉が、この雫石で使われては進歩も発展も無く取り残されるばかりです。少子高齢化が進み、心を痛めておりますが、福田こうへいさんの唄の様に、「落ちてゆくのに まだ燃えている」の心境で頑張っております。

ふるさと

今日の国内情勢は、アベノミクスによる緩やかな景気回復傾向は見られるものの、地方への波及は見られなく、むしろ諸物価の上昇が相次いでいる上、4月からは増税が重くのしかかっています。また、東日本大震災の復興の道のりはまだまだ長く厳しいものが予測されます。さらに、原発やエネルギー問題、TPP交渉、そして4月からの消費税など、さまざまな難局が直面しており、今後も厳しい経済情勢が憂慮されます。

当町においては、昨年8月9日、これまでに経験したことのないゲリラ豪雨が本町を襲い、町内各地に大きな爪痕を残したものであります。復旧に向け努力していることは認めるが、今までの経験を生かし、次世代へ対策と対応を示して、今後町民へ安全と安心な雫石町であるようであればいいなと思います。



国立と母なる里をつなぐ秘話

私の職場・鉄道総研には故郷の後藤新平の像がある。そして、岩手山の麓には鉄道の父・井上勝らが開拓した英国式大農場がある。もしも井上や後藤ら鉄道先人の留学と挑戦が無かったなら、故郷の畜産・文学・観光までもが衰退していただろう。そこで、先人達の秘話と望郷の念を一言伝えたい。

後藤は復興長官や東京市長として有名だが、苦難の新幹線構想の生みの親でもある。欧米並みの高速大幹線の都市間整備を唱える後藤は、地方軽便鉄道網推進の原敬らとの政争に敗れ、技師らと共に満鉄等に行く。以後、私鉄軽便鉄道が国費支援の下で各地に整備されるが、多くが赤字線で消滅。残りも新生国鉄に集約された。今で言う軽便鉄道バブルである。雫石でも盛岡間は残ったが、生家裏の森林軌道・鶯宿線（転用未完の川尻線：敷設法）が私の通園直前に消滅した。

話は戦後復興に移る。農業小国化の占領軍分断（シャグノン更迭）の後、後藤の構想を具現化したのが新総裁の十河信二である。十河は、近代工業国再興のため、先ず、国立・国分寺間に鉄道の大学や研究所から成る鉄道

学研都市を整備した。次に、政治介入を避けるため、世界銀行から巨費を借入れて新幹線を竣工させた。これが焦土からの“奇跡の復興と産業創出秘話”の序章となる。あれから半世紀、交通の発達は商圈と産業盛衰を今や国外まで及ぼしている。新幹線駅は故郷にもできたが、一方で“商圈内の相対的競争力向上や文化の発信”にどう活かすのか、顧客目線の戦略と住民の選択が気がかりである。

最後に自身の話を少々。恩師・恩人の支援や新幹線の夢を背に、貧しき十五の私は岩手を離れ、鉄道大へ進学した。卒業後はリニアや新幹線、在来線の研究に奉職。欧米各地の交通文化や産業を見聞し、明治の殖産・関東大震災・戦後復興の局面での井上・後藤・十河らの技にも触れた。この間、故郷では安庭の駄菓子屋や魚屋、鍛冶屋、豆腐屋等の商店街が湖に消え、親や恩人達が旅立った。初老を迎えて顧みれば、恩師らの映画“大いなる旅路(1960)”が人生の原点であり、父なる山々の変わらぬ原風景に、母なる里への思いが募るばかりである。



リニア車両実験の頃
（宮崎日向，1983）

妻への旅案内の頃
（西独Bingen, 1985）



国際会議授賞式
（Montreal, 2006）

鉄道総研の後藤新平像
（東京国立，2014）



川口 清さんプロフィール

1955年生まれ。御所・安庭出身（安庭小一御所中）。東京都立川市在住（5人家族）。国鉄中央鉄道学園大学課程卒
受賞歴：優秀論文賞（WCRR2006：世界鉄道研究会議/カナダ）、井深特別賞（元 SONY 会長基金）、有隣会長賞（卒論）等。（公財）鉄道総研に永年奉職/主任研究員：車両や公共交通機関論を研究（譲渡特許約 30 件）。現在は同グループ(株)テス/営業部長：関係省協会や各研究所の専門家活動・内外コンサルに従事。
資格：技術士（機械/鉄道）P.E.Mech 等

栗石町へようこそ

お嫁さん

お婿さん



自宅のスターチスハウスにて

左から夫の寿男さん(39歳)、二男の歩夢くん(小5)、
長男の健斗くん(中1)、博江さん、結ちゃん(小2)

ご縁があり、町外から迎えられた
「お嫁さん」

かやはし ひろえ
茅橋 博江さん (39歳 石鳥谷町出身)
(旧姓：中川、八区行政区在住)

Q- お二人の馴れ初めは？

- 岩手県立農業大学校で知り合いました。

Q- 栗石町に暮らしてみているいかがですか？

- 雄大な岩手山、駒ヶ岳にかこまれていて、「住めば都」 特にも私
が住んでいる長山地区は、空気がすんでいて、温泉、自然や食等
からも癒されるスポットが沢山あり、魅力あふれる地区だと思います。

Q- 町へ望むことは？

- 防災無線（ラジオ）を利用して、町のイベントや学校の様子
等の情報も発信してくれたら良いと思います。

議会の主な動き 7月～10月

- | | |
|---|---|
| <p>7月 25日 岩手地区議員大会（岩手町）
29日 静岡県富士市議会行政視察来庁、千葉
県一宮町議会議会広報視察来庁</p> <p>8月 1日 岩手県岩泉町議会基本条例視察来庁
議会運営委員会
6～7日 第46回町村議会夏季議員大学講座
8日 第5回臨時議会
11日 盛岡地区衛生処理組合決算審査及び定期監査、滝
沢・栗石環境組合決算審査、産業建設常任委員会
15日 政務調査会、議員全員協議会
18日 町民と議会との懇談会（長根公民館/
駒木野公民館）
19日 町民と議会との懇談会（上町一・二公
民館／御明神公民館）
22日 町民と議会との懇談会（中沼公民館/大村伝承館）
27日 栗石町戦没者追悼式、議会運営委員会
28日 教育民生常任委員会、栗石町・仙北市議会議員交流会
29日 議員全員協議会
30日 総合防災訓練</p> <p>9月 2日 盛岡横手線道路整備促進期同盟会通常総会
5日 9月定例会開会（9/24まで）御明神小
学校創立140周年記念集会</p> | <p>9日 議会広報編集特別委員会
10日 総務常任委員会、教育民生常任委員会、
産業建設常任委員会
11日 産業建設常任委員会、常任委員会全体会
12日 政務調査会、議会運営委員会、議員全員協議会
13～14日 全国軽トラ市サミット
15日 敬老会
21日 下長山小学校創立140周年記念式典
22日 議会運営委員会、議員全員協議会
26日 秋の交通安全のほりロード大作戦、岩手
県議長会臨時総会・第2回政務調査会
10月 1日 県道紫波・栗石線奥地産業道路整備促
進期成同盟会
7～8日 岩手地区議会議長会中央実行運動（東京）
9～10日 岩手地区議会議長会県外視察（沖縄県）
15日 政務調査会、議会広報編集特別委員会
16、21日 議会運営委員会・議会運営委員会
23日 第7回臨時議会、議会広報編集特別委員会
25日 栗石小学校創立140周年記念式典
30日 町村議会広報担当者研修会（花巻）</p> |
|---|---|

情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、
情報収集、町政協力者への謝意を表すため
に係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳（7月～9月）】

月	葬祭費	お祝い、会費
7月	0件 ー円	5件 25,000円
8月	0件 ー円	2件 9,000円
9月	0件 ー円	4件 17,000円
小計	0件 ー円	11件 51,000円

今月の表紙

▶女子コーチの
上田さん(右)
と袖林さん



栗石町ミニバスケットボール
スポーツ少年団
(総監督：坂本義信さん)

体育館に入ると団員男女39名の元気な声が響く。特に女子
は7月に東北電力旗岩手県大会で優勝する実力。男子も女子
の成績に負けじと、12月に開催される大会に向けて猛練習中。
練習は毎週火・木曜日、午後6時～8時まで、町営体育館で
行っている。団員は随時募集中。入団希望者は、練習時体育
館にいるスタッフにお問い合わせを。

■編集デスク

9月定例会が曜日の関係で、9月5日より9月24日ま
での長丁場となり、91号の発行が遅れた事をおわびします。
また、本来であれば大変喜ばしい収穫の秋であるはずが米の
仮渡し金が大幅に下がり稲刈りも力が入らない感じです。

町長選では、深谷政光氏が当選し、また、議員の補選でも
横手寿明氏と山崎芳邦氏の二人が当選しました。議長・副議
長も変り、新たなスタートとして心機一転ガンバリます。

(編集委員 岩持清美)